

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2002-359756 (P2002-359756A)
 【公開日】平成 14 年 12 月 13 日 (2002.12.13)
 【出願番号】特願 2002-77689 (P2002-77689)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/21

H 0 4 N 5/243

【F I】

H 0 4 N 5/21 B

H 0 4 N 5/243

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 4 日 (2005.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イメージ処理システムにおけるフレーム間ノイズを最小化するための方法において、
 イメージ処理システムにおけるイメージ制御機能に対する目標設定を設けるステップ (208) と、

前記イメージ制御機能に関連する状態情報を記憶するように構成された記憶ユニットを
 設けるステップ (202) であって、前記状態情報は、第 1 の状態または第 2 の状態のい
 ずれかであることからなる、ステップと、

前記イメージ制御機能に対する許容値を設けるステップであって、前記許容値は、前記
 第 1 の状態では第 1 の値 (214) であり、前記第 2 の状態では第 2 の値 (212) であ
 ることからなる、ステップと、

ビデオフレームに対応するフレームデータを受け取るステップ (204) と、

前記フレームデータから前記イメージ制御機能に関連するイメージ制御機能測定値を決
 定するステップ (206) と、

前記イメージ制御機能測定値と前記目標設定を用いて誤差値を計算するステップ (208) と、

前記誤差値が前記許容値を超えたかどうかを判断するステップ (216) と、

前記誤差値が前記許容値を超えたという判断にตอบสนองして、前記状態情報を前記第 1 の状
 態に設定し (220)、前記イメージ制御機能測定値を前記目標設定に向けて収束させる
 ステップ (222)

を含む、方法。

【請求項 2】

前記第 1 の値が、狭い許容値であり (214)、前記第 2 の値が、広い許容値である (212)、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記目標設定が、目標輝度である (308)、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記目標設定が、前記フレームデータにおいて測定された最大のグリーン値である (408)、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

イメージ処理システム（１００）において、

一つまたはそれ以上のイメージ制御機能に対して一つまたはそれ以上の目標設定を記憶するように構成された第１の記憶ユニットであって、イメージ制御機能に対する目標設定を記憶する第１の記憶ユニットと、

前記イメージ制御機能に関連する状態情報を記憶するように構成された第２の記憶ユニット（１０６）であって、前記状態情報は、第１の状態または第２の状態のいずれかであることかなる、第２の記憶ユニットと、

前記イメージ制御機能に対する許容値を記憶するように構成された第３の記憶ユニット（１０８）であって、前記許容値は、前記第１の状態では第１の値であり、前記第２の状態では第２の値であることからなる、第３の記憶ユニットと、

前記第１、第２および第３の記憶ユニットに結合されたモジュール（１０４）を備え、

前記モジュールは、ビデオフレームに対応するフレームデータを受け取る（２０４）ように動作可能であり、及び、前記フレームデータからイメージ制御機能測定値を決定する（２０６）ように動作可能であり、及び、前記イメージ制御機能測定値と前記目標設定を用いて誤差値を計算する（２０８）ように動作可能であり、さらに、前記モジュールは、前記誤差値が前記許容値を超えたかどうかを判断する（２１６）ように動作可能であって、前記誤差値が前記許容値を超えたことの判断に回答して、前記状態情報を前記第１の状態に設定して（２２０）、前記イメージ制御機能測定値を前記目標設定に向けて収束させる（２２２）よう動作可能であり、前記イメージ制御機能測定値は、前記イメージ制御機能に関連していることからなる、システム。

【請求項 6】

前記モジュール（１０４）に結合されて、前記フレームデータからの統計値を決定するように動作可能な第２のモジュール（１０２）を更に備える請求項 5 のシステムであって、前記統計値は、前記イメージ制御機能測定値を決定するために使用されることからなる、システム。

【請求項 7】

イメージ処理システムにおけるフレーム間ノイズを最小化するための方法であって、ビデオフレームを受信するステップ（２０４）と、

ビデオフレームのイメージ制御機能に関連する測定値を決定するステップ（２０６）と、

目標値を設定するステップ（２０８）と、

許容値を設定するステップ（２１２、２１４）と、

前記測定値と前記目標値を用いて誤差値を計算するステップ（２０８）と、

前記誤差値と前記許容値を比較するステップ（２１６）と、

前記誤差値が前記許容値よりも大きいことに回答して、前記イメージ制御機能を調整するステップ（２２２）

を含む、方法。

【請求項 8】

前記誤差値が前記許容値以下であることに回答して、前記イメージ制御機能を保持するステップ（２１８）を更に含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

第１の状態（２２０）または第２の状態（２１８）のいずれかである状態情報を保持するステップ（２０２）と、

前記誤差値が前記許容値よりも大きいことに回答して、前記状態情報を前記第１の状態に設定するステップ（２２０）

を更に含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

記憶媒体中に記憶されたビデオフレームと、

前記記憶媒体に結合されて、前記ビデオフレーム中の測定値を決定する(206)よう動作可能なモジュール(104)

を備えるイメージ処理システム(100)であって、

前記測定値は、イメージ制御機能に関連するものであり、前記モジュールは、前記測定値と目標値を用いて誤差値を計算し(208)、前記誤差値と許容値を比較する(216)よう動作可能であり、前記モジュールは、さらに、前記誤差値が前記許容値よりも大きいことに応答して、前記イメージ制御機能を調整する(222)ように動作可能であることからなる、イメージ処理システム。